

## 第三者評価結果報告書

### ①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

### ②施設・事業所情報

名称：屏風ヶ浦保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：川上 由記子	定員（利用人数）： 90名（103名）
所在地：〒235-0023 横浜市磯子区森6-3-33	
TEL：045-761-3005	
ホームページ： <a href="http://www.kanagawa-swc.com/headquarters/">http://www.kanagawa-swc.com/headquarters/</a>	

### 【施設・事業所の概要】

開設年月日 1970年1月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）： 社会福祉法人 神奈川県社会福祉事業団		
職員数	常勤職員： 25名	非常勤職員： 12名
専門職員	保育士 27名	看護師 1名
	栄養士 1名	調理師 4名
施設・設備 の概要	(居室数)	(設備等)
	保育室6室、調理室1室、調乳室1室、医務室1室、事務室1室、職員休憩室1室、予備室、遊戯室	

### ③理念・基本方針

<p>保育方針</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・豊かな実体験を通して心を育む保育</li><li>・子育てを共に考え見つけ合う保育</li><li>・地域に開かれ共に育ち合う保育</li></ul> <p>保育目標</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・意欲のある子ども</li><li>・自分らしさを発揮できる子ども</li><li>・自分も友達も大切にできる子ども</li></ul> <p>保育姿勢</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・安定した環境のもとで一人ひとりの子どもを大切にする</li><li>・愛情と信頼関係の中で、情緒の安定を図り心身共に調和のとれた発達を図る</li><li>・いろいろな体験を通し、人と関わる中で自主性を育てる</li><li>・楽しい集団生活、健康な身体づくり、楽しい給食を目標の柱にする</li></ul>
---

### ④施設・事業所の特徴的な取組

<p>乳児期から人との関わりを通して温かさに触れ、自己決定する意思を育む事を大切にしています。保育園が一日の大半を過ごす場所であるからこそ、一人ひとりのありのままの姿を受容し、自分らしく過ごすことが出来るように働きかけ、バランスのとれた様々な遊びを経験できるように心掛けています。園庭やテラスを活用した戸外遊びを中心に、健康な心と体を養い、遊びを通じた異年齢児交流も意識的に取り組んでいます。中でもリズムや荒馬はあこがれの気持ちや年下児へのやさしさや思いやりにも通じ、心の育みや意欲へと直結する遊びとして大切に取り組んでいます。</p>
--

### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年8月10日（契約日）～ 2022年4月12日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（2016年度）

## ⑥総評

### ◆特に評価の高い点

#### 1. 子どもたちは自分らしさを発揮し、のびのびと園生活を楽しんでいます

保育士は、子ども一人ひとりを優しく見守り、子どもが安心してそのらしさを発揮し、園生活を楽しめるように支援しています。

保育士は、子どものつぶやきなど小さな発信を受け止めて共感し、子どもが自分の思いを表出できるように、年齢にあわせた働きかけをしています。保育士に前向きな言葉でたくさん話しかけてもらい、励ましてもらって、子どもたちは自分の思いを素直に言葉や身体で表現しています。幼児は、自分たちで話し合っ、行事の内容などを決めています。観察時のお店屋さんごっこの準備でも、「～を小さな子どもが喜ぶかな」「～の方が楽しいかな」などと子ども同士でアイデアを出し合い、試行錯誤しながら協力して取り組んでいる様子を見ることができました。

雨でなければ園庭で友だちと一緒に思いっきり身体を動かしたり、散歩で季節の自然に触れたりしています。室内でも鉄棒や巧技台などで身体を動かしたり、リズムやダンスを楽しんだりしています。特に、年長児の荒馬踊りは子どもたちのあこがれで、観察時には踊りの練習を始めた4歳児の姿を3歳児が廊下から覗き込んでいる様子を見ることができました。

また、友だちの失敗を前向きな言葉で励ましたり、遊びに入れない友だちに「手伝って」と助けを求めて誘い込んだりと、お互いを思いやる姿もあり、一緒に生活する中で保育士の姿を見て子どもたちが様々な学びを得ていることを読み取ることができました。

#### 2. 保護者が安心して子育てができるよう、保護者との関係作りをしています

毎日連絡帳を用いて保護者と情報交換するとともに、朝夕の送迎時には保育士は、保護者と会話をして子どもの楽しいエピソードを交えて伝えています。保護者からの質問には丁寧に対応し、必要に応じて個人面談を設定し相談にのっています。内容によっては、保育長、主任、看護師、栄養士などが対応しています。

毎月園便り、クラスだよりを発行するとともに、日々の保育の様子を写真にとって掲示し、保護者に伝えています。年2回の懇談会、年1回の個人面談のほか、運動会やお楽しみ会などの保護者参加行事をしていて、コロナ禍でも幼児が3部入れ替え制でお楽しみ会をするなど、工夫しています。

日々の子どもの楽しい姿や成長の様子を丁寧に伝えることが保護者の安心につながっていて、満足度の高さにつながっています。

#### 3. 保育士は話し合いの機会を多くもち、連携して目指す保育の実現に向けて取り組んでいます

年度末の研修会で年度の重点項目について話し合っ、理念や方針、園が大切にしてきたことを確認しています。毎年の人権研修では、チェックリストを用いて自己点検し、日々の保育の様々な場面をあげて確認しています。日々の振り返りやクラスでの話し合い、毎週の職員会議などで一人ひとりの子どもの個性や課題を把握して振り返りをし、よりよい保育の実現に向けて連携して取り組んでいます。

保育士は、指導計画や保育日誌に、一人ひとりの子どもの良い姿や課題を丁寧に記載し、子どもを制することなく子どもの良さを引き出し、子どもを主体とした保育が実践できるように取り組んでいます。

### ◆改善を求められる点

#### 1. 業務の効率化など、経営課題の改善に取り組まれることが期待されます

園は、職員が余裕を持って働くことが、子どもを大切にした保育の実現につながるという考えのもと、職員を大切にした働きやすい環境作りに取り組んでいます。職員と意見交換しながら、職員配置を工夫したり、書式、業務の見直しをするなど様々な取り組みをしていますが、業務負担軽減までには至らず、課題となっています。

課題については、職員からも声があがっており、管理職との共有はできています。職員と話し合っ仕事量や文書の見直し、業務の効率化に向けた話し合いを重ねるとともに、法人とも討議をし、経営課題の改善に向けて取り組んでいかれることが期待されます。

### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受審し、屏風ヶ浦保育園として自信をもって取り組んできたことが評価され、とても嬉しく思っています。子ども一人一人を大切に、温かい関わりを続けていくことで、毎日楽しく安心して過ごせるよう、職員一同努めているところです。たくさんの経験をしながら、心も体もすくすくと育っていく子ども達が、友だちを認め大切に思い合い、大変なことも皆でやると頑張れるなど、仲間と共に生きていく楽しさを実感できるようになっていけたらと考えています。

一方で、改善を求められる点についても改めて認識することができました。職員の業務量の多さについては改善に向けて取り組んでいるところですが、まだまだと感じています。たくさんのやるべきことの中で、減らしてもいい部分と、大切にしていきたいところを職員と話しながら、余裕をもって働き続けられるようにしていきたいです。又、職員が責任感をもって保育するために、専門性向上のための研修等も行っています。

保護者の方にアンケートの協力をいただき、ありがとうございました。色々な意見があり、改善できるところから取り組んでいきたいと思えます。日々丁寧にコミュニケーションをとりながら、保護者の方と一緒に子ども達を見守り、成長を喜び合っていけたら幸いです。

屏風ヶ浦保育園

園長 川上 由記子

### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり